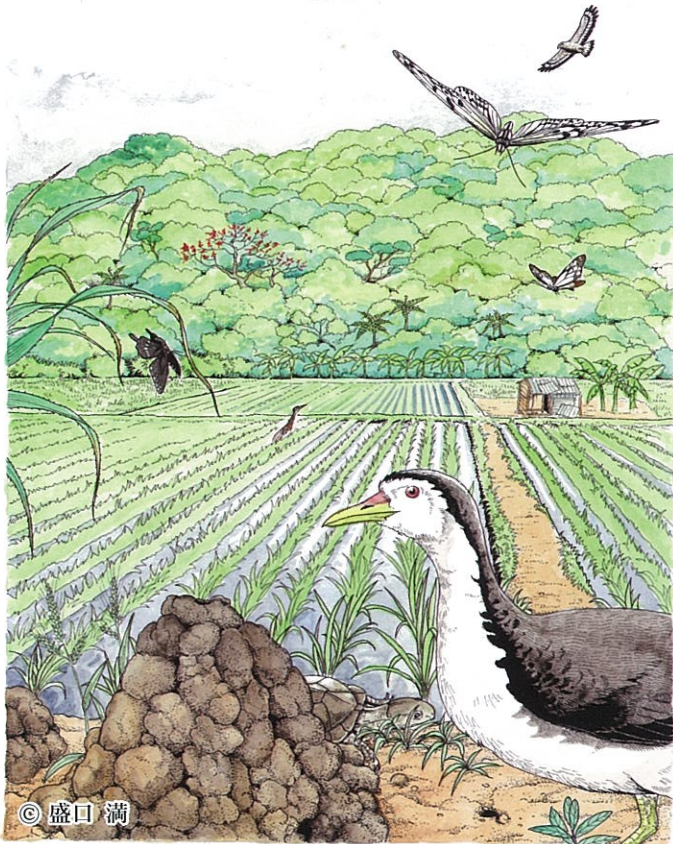


生物多様性シリーズ part 5 / 総合地球環境学研究所・列島プロジェクト最終報告会

# 琉球弧の環境史

— 理科系のミンゾク学入門 —



**聴講無料**

— 予約不要 —

先着

**150名様まで**

ボーダーインク『聞き書き島の生活誌シリーズ』の最新刊(与那国島石垣島編・沖縄島伊江島編・種子屋久奄美編、定価1050円)から1冊をプレゼント。

## 開催趣旨

今回の公開講座は、地球環境問題を人類のもつ文化の側面から具体的に解決することをめざして創立された地球研(総合地球環境学研究所)での5年間にわたる列島プロジェクト「日本列島における人間-自然相互関係の歴史的・文化的検討」奄美沖縄班の成果発表会をかねて実施します。

研究の目的は、奄美・沖縄の自然と文化の多様性とその成立の過程を文理融合の研究によって明らかにすること、という大きなものですが、共同研究の成果の地域への還元を試みます。

「聞き書き・島の生活誌」のブックレット全7冊(ボーダーインク)と『奄美沖縄環境史資料集成』(南方新社)の刊行記念の講座でもあります。

## エクスカージョン

**「山と海の恵みを歩く(本部半島方面)」**

3月20日(日)9~18時 沖縄大学発着、マイクロバス使用  
資料代1000円。先着15名程度(要予約)

=案内人=

虫と植物の多様性(盛口満)、本部半島の地形(骨格)とサンゴ礁の多様性(渡久地健)  
爬虫類の世界・空中写真(当山昌直)、山林政策の歴史(三輪大介)

2011 **3.19** 土 13:30~17:00 沖縄大学 3号館101室

## プログラム

はじめに—地球研・列島プロジェクトからの趣旨説明

13:40—14:55

### 第一部 琉球弧の環境史を考える

#### 骨は語る

—遺跡出土動物遺存体からみた動物資源利用の歴史  
石丸恵利子(地球研・プロジェクト研究員)

#### 先史人は賢明な消費者であったか

—琉球列島のヤコウガイ集 積遺跡を手がかりに  
木下尚子(熊本大文学部・教授)

#### 近世琉球王国の環境劣化と社会的対応

—蔡温の資源管理政策をめぐって  
三輪大介(兵庫県立大大学院・博士課程)

14:55—15:20

### 休憩とポスターセッション「奄美沖縄環境史の世界」

- ・与那国に残る15世紀の済州島漂流民の伝承 / 安溪遊地・貴子
- ・奄美、沖縄の統計書を読む / 早石周平(鎌倉女子大短期大学部・講師)
- ・1945年高精細空中写真の世界 / 当山昌直
- ・サンゴ礁の民俗分類の比較  
—奄美から八重山まで / 渡久地健(琉球大学・非常勤講師)

15:20—16:35

### 第二部 琉球弧の生物・文化多様性の未来

**地獄と恩人**—ソテツをめぐる奄美と沖縄の対比  
安溪貴子(山口大学医学部・非常勤講師)

**イノシシとの共存**—奄美沖縄における狩猟文化誌  
蛭原一平(東北芸工大東北文化研究センター・研究員)

**1945年の奄美沖縄の高精細空中写真から読めること**  
当山昌直(沖縄県文化振興会)